

消費者から好まれるキク花束の要素

農業・園芸総合研究所

1 取り上げた理由

現在，研究課題として「転作田における8，9月出しギクの省力作業体系の確立（平成16～18年度）」に取り組んでいるが，この体系が現地に導入された際には，市場出荷以外に生産者自らキク花束を作り庭先や農産物直売所等で販売する可能性がある。そこで消費者に好まれるキク花束の要素を明らかにするため，仙台市内在住者を対象にアンケート調査を実施した結果，その傾向が明らかになったので，参考資料とする。

2 参考資料（普及情報）

- 1) キク花束を構成する各要素の選考度をコンジョイント分析により解析した結果，商品を購入する際に重視する要素がもっとも高かったのは「色組合わせ」で低いものは「価格」である。各要素の効用値を比較すると，「色組合わせ」では赤・白・黄色の混色，「種類組合わせ」では，輪ギクのみよりも小ギクをいれたものが好まれる傾向である。「切り花長」では60cm，「価格」では500円が好まれている傾向である（図1，2）。
- 2) キク花束はそのまま仏壇や墓に供え花として利用しても違和感がないことから，祭事に使われる性質も考えると，消費者は「安さ」だけを追求しないようである。キク生産者が花束を直接販売する際には，色どりを重視し，品種と色の組合わせを考慮して作付けすることが戦略として有効であると思われる。

3 利活用の留意点

- 1) 調査対象は当研究所の消費者アンケート協力者（仙台市内在住者）330名で実施時期は平成16年11月，郵送アンケートでおこなった。有効回答数は234人（70.9%）で性別は男性82名，女性152名である。回答者の平均年齢は58.5歳。
- 2) コンジョイント分析とは，商品などの「もの」全体に対する被験者の好き嫌いの評価から「もの」を構成する各要因の評価を推定する1手法である。キク花束の要素（4属性，2～3水準，表1）を直行配列によって9種類に組合わせ，アンケートに記載した組合わせ説明図の選択順位を基に各要素の重要度と部分効用値を解析した結果である。

（問い合わせ先：農業・園芸総合研究所情報経営部 電話022-383-8119）

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

転作田における8, 9月出しギクの省力作業体系の確立(平成16~18年度)

2) 参考データ

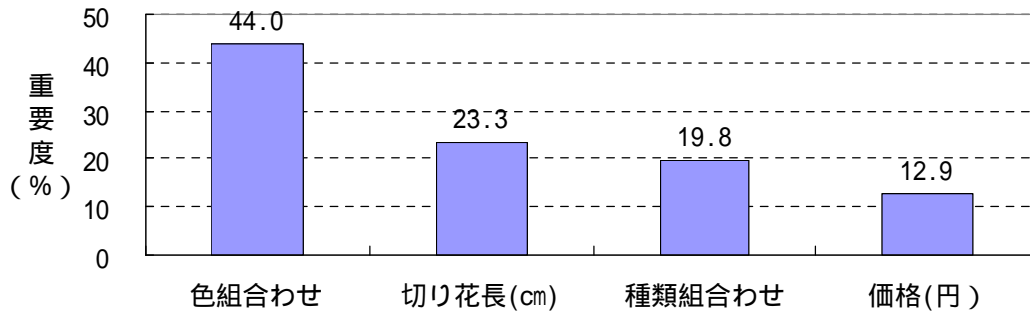
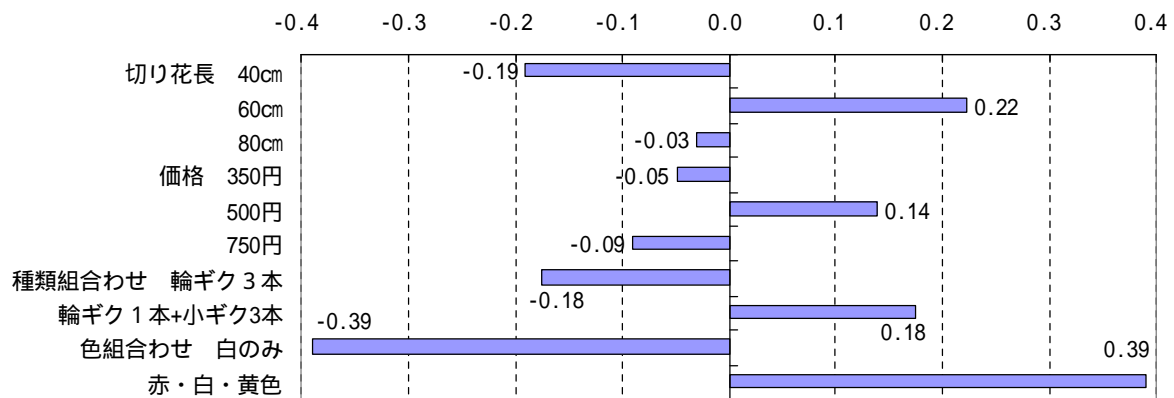


図1 購入する際の要素別重要度



*正の値(+)は好まれる傾向, 負の値(-)は嫌われる傾向である。

図2 各要素の効用値

表1 コンジョイント分析に使用した属性と水準

		水準1	水準2	水準3
属性1	切り花長	40cm	60cm	80cm
属性2	価格	350円	500円	750円
属性3	組合わせ	輪ギク3本	輪ギク1本と小ギク3本	
属性4	色	白のみ	赤・白・黄色	

3) 発表論文等

平成16年度東北農業研究成果情報